



庄原自治振興区だより

第 179 号 令和 3 年 9 月 21 日 発行

〒727-0013

庄原市西本町二丁目 18-8-401

TEL/FAX

(0824) 72-3777



～ 夏休み子供教室を開催しました!! ～

昨年度、新型コロナウイルス感染拡大防止により夏休み子供体験教室は、残念ながら中止しました。今年度は、新型コロナウイルス感染予防対策を取りながら、3つの教室を行いました。

庄原書道教室・生け花の会・くららおばさんの手作り教室(羊毛フェルトでストラップ作り)に総勢 58 名(手作り教室は 34 人)の参加がありました

どの教室も参加申し込みがたくさんあり、特に手作り教室は急遽 3 クラスに増やすことになりました。講師の先生や、教室の皆さんとも楽しく交流しながら取り組み、思い思いの作品を作りました。子供たちから「とても楽しかった」「また参加したい」という嬉しい声を聞き、来年も開催できることを願っています。10 月からは、子供将棋教室も始まります。

生け花の会



フラワーアレンジメントを作りました

庄原書道教室



3日間通して、課題を仕上げました

くららおばさんの手作り教室



羊毛フェルトで
マグネットと
ストラップを作
りました



大雨や土砂災害から命を守るために
早めの避難をしましょう！



8 月役員会報告

(8 月 24 日) 協議事項等は以下の通りです。

- (1) 自治振興センター事務所移転日程について
 - ・業者による移転作業・・・9/8(水)、事務所大型物品の移送・設置。
 - ・自治会長の協力・・・9/6(月) 9 時～軽トラ借用協力により、旧田川小・新興ビル 4 階。
 - ・その他の移設・・・電話 9/3(金)、パソコン・コピー機 9/8(水)机など設置後。
- (2) 本区振興センター建設・改修の取組みについて
 - ・貸館終了ー8/31(火)、9/1(水)～事務所移転開始、詳細は 8/20(金)発行振興区だよりを参照。
- (3) 自治会活動報告・・・大久保西ー吉岡自治会長、次回は美湯ハイツ自治会。



～ いにしえの郷「庄原」からのつたえごと ～ No.17



シリーズふるさと歴史文化散策 近世4 後編

《時代劇を10倍楽しくする豆知識：庄原地方の百姓一揆》

強訴から5年後に「享保3年三次藩全藩一揆」が起きます。百姓だけでなく町民も加わって三次へ集結した百姓集団は「郷代官」の家を打ち壊します。また、「村用間商“絹屋”」も潰されています。この事は、当時の百姓は農民の生活を苦しめる者が役人だけではなく、これに関係する裕福な商人たちも同類であると判っていた事にほかなりません。

一揆は成功し救援食料と共に郷代官制の廃止も受け入れられました。しかもこの一揆はこれだけに止まらず、終結の1ヶ月後、隣接する三上郡本村(本村町)に波及し、広島藩全域を巻き込む「正徳の新格反対一揆」を誘発します。(参考文献『三次地方史論』)

◆広島藩三上郡の一揆について

三上郡18ヶ村は知行形態により3分類できます。小用・大久保・永末村は蔵入地、庄原・春田・峯・本・高門村は明知方、川手・高・川西・宮内・新庄・是松・上谷・板橋・一木村は家老三原浅野家給地、実留村は家老上田家給地です。

享保3年3月、蘇羅比古神社(本村町)に集結した本村の百姓は群衆化し騒動に発展、やがて隣接の奴可郡三谿(みたに)郡にも波及し、さらに全藩に拡大して30万人が蜂起しました。この百姓一揆は他の一揆に比べ極めて政治色が強いといえます。

藩主浅野吉長は、財政建直しのため郡代官制を廃止し、新たに各郡村の有能者を抜擢して「御奉公人」の「格式」を与え、郡務を執行させる藩政改革「郡方御新格の儀」に着手しますが、この抜擢された「新格者」は態度が横柄で、地位を利用して自分の利益をむさぼったことや、改革の目的が年貢の増徴にあることから、百姓の反感を買い一揆は成功しますが、三上郡の明知方本村百姓は庄原牢、三原浅野家給地川手・高村百姓は3名が川手牢、3名が三原で、首謀者(発頭人)として処刑され打ち首になりました。※ 参考文献『古文書にみる庄原地方のできごと』

明和7年11月28日夜半、一木村白旗神社に結集した百姓は、付和雷同(ふわらいどう)した付近の者を加え喚声をあげ、デモンストレーションしながら庄原方向へ向かいました。この異状に気付いた板橋村庄屋は、庄原村割庄屋に急報します。

警備の人員をひきいて出動した割庄屋は、板橋村で暴徒に遭遇しこれを制圧します。

この年は全国的な干ばつで、丘陵地帯の一木・板橋・是松・新庄村は川らしい川がなく、農業用水のすべてをため池に依存しており、郡内で最も干ばつの影響を受けやすい地域で、この年の年貢納入が不可能な状態でした。

このような状況下、隣接する恵蘇・三谿(みたに)郡から扇動者が潜入し百姓の不安をさらにあおりました。

聞き込み捜査から14名が捕まり、扇動者が三谿郡の者だと判明します。捜査権限は発生地を治める三原浅野家にありますが、首謀者が藩直轄領三谿郡の者であることから藩も捜査に介入します。

干ばつによる凶作は他の凶作と異なり局地的に豊作と凶作が存在し、三上郡の場合は、北部に西城川、南部に本村川があり、両川で灌漑(かんがい)される地域は豊作の部類に入りますが、農業用水に乏しい中間部の丘陵地帯は凶作地域となります。

しかも知行地が違う村と村の往来は少なく、親近感も薄いことから、蜂起した3村の近隣村への一揆協力要請は不発に終わりました。

次回は、「時代劇を10倍楽しむ豆知識：上野諏訪神社」を紹介します。お楽しみに……。

《文・構成 庄原自治振興区 歴史文化継承委員会》



石塔刑場跡慰霊碑塔(石塔池墓地下)

～ 庄原自治振興区歴史文化出前トーク ～

①「大胡自治会、地域の歴史文化を学ぶ」

日 時 : 7月20日(火)
 受講者 : 15名
 講 師 : 奥田虎昭・岡田光晴

庄原自治振興区の出前講座「庄原の歴史文化を学ぶ」を開催し奥田講師による大胡地区の歴史を中心に庄原の古墳時代以前から近現代までの大変興味深いお話を頂き、この地区の歴史文化を改めて学びました。

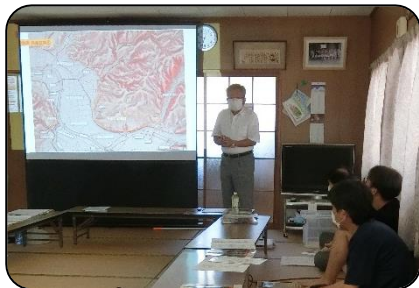


②「川手沖自治会、地域の歴史文化を学ぶ」

令和3年8月1日川手沖集会所で出前講座「庄原の歴史文化を学ぶ」取り組みとして、“川手を知る会”のテーマで2年越しに開催することができました。

コロナ禍の中で15名の参加を得ることができ、自治振興区歴史文化継承委員の奥田虎昭さん、事務局次長の岡田さんの絶妙なコンビネーションで[庄原の川手町に歴史あり]と題して約2時間の講座を楽しむことができました。おがんだ山遺跡群(太古の川手地区)から江戸時代の川手村、コメ作り等中高生にも聴講して欲しい濃い内容でした。

地元の国近晋作さんからは、川手沖地域に関する歴史や過去の水害の話もあり、川手に転入された方や以前から住んでおられた方にとっても大変意義のある講座でした。



自治会活動紹介

会員数
(60戸)

⑥ 宮内自治会 自治会長 光廣正明

“宮内”の地名は日本各地に多くありますが、それぞれの地に由緒ある神社が祀られています。

当地には神福寺という古代寺院があったと伝えられ、縄文土器の出土や6月に国の史跡の指定を受けた佐田峠墳墓群は弥生時代の四隅突出型墳丘墓群です。古墳時代の前方後円墳や円墳がむれをなして造営され、宮内は優れた豊かな自然や歴史に恵まれ「ゆとろ大地」にある農村集落です。自治会は6つの常会に分れ、各班長と会長、副会長、会計の総計9名で役員会を構成し、委員会として「ゆとろサロン実行委員会」、「防災委員会」があり、自治会を運営しています。

年間の主な行事は年度初めの自治会総会・懇親会・夏祭り、秋祭り、サロン、地区内一斉の市道草刈り等です。世帯数は60戸で前後し、人口の変動は僅かで、少子・高齢化が急展開で進行しています。高齢化が急速に進む中で一人暮らしや高齢者のみの世帯も多くなり、空き家も増えています。自治会では誰もが安心して暮らすことが出来るよう地域での絆の強化、気配り・目配りを心掛け活動しています。サロン開催の冒頭に斉唱する地区の方の作詞になる「宮内弥生の郷」音頭の一節に『呼べば返る餅(こだま)よ、老いも若きも集いて、永久の絆育まん、広がる笑顔故郷』とあります。地域には、現在約49haの水田があり、70代、80代など高齢者が営農集団・法人の組織に属してこれを支えています、後継者が十分でなく将来に不安を残しています。

今後の課題は地域を支える後継者を育成し、少子化を食い止め、いかに地域を活性化し絆を強める事だと考えています。

今年もやりました。南4自治会“納涼夏イベント”

— 南4自治会 —

8月8日(日)、昨年に引き続き今年も、南4自治会主催の“夏休み応援イベント”を実施しました。10時から約30分毎の時間差で、各自治会の幼児から中学生を対象として大胡児童公園に招待して、綿菓子・ポップコーン・駄菓子袋をプレゼント、子供と保護者約100名の参加で午後12時過ぎまで楽しく過ごしました。



第15回「区民ウォーキングの集い」のお知らせ！



と き 令和3年10月16日(土) 9時～12時
と ころ 庄原市上野総合公園 芝生広場周辺



コロナ禍ではありますが、今年度はぜひ、青空のもと多くの皆さんと上野総合公園周辺を歩きたいと願っています！（詳しい内容は別紙行政回覧日の案内文を参照して下さい）

10月の振興区主催行事予定



12日(火)	理事総務企画室合同会議	13:30～
16日(土)	第15回区民ウォーキングの集い	9:00～
19日(火)	環境美化防犯パトロール	9:00～
(東下・大歳上・大歳下・宮の下の各自治会長)		
26日(火)	役員会	13:30～
毎週1回	青少協防犯パトロール	16:30～

編集後記

オリンピックが開催され、連日日本の活躍が報道されています。過去、最高の金メダル獲得という好成績をあげました。

一方で、全国的にコロナ患者が急増し病床が逼迫しているという事態にも成っています。早期に、コロナ禍が終息することを願ってやみません。

一生、ワクチン接種することになりそうです。さて、このたび「たより」の編集委員になりました。是非、読んでほしい記事がありますのでご紹介します。(他の記事も読んでください)

～いにしえの郷「庄原」からの伝えごと～の記事です。江戸時代の庄原地方での出来事をわかりやすく紹介してあります。小・中学校のお子さんがおられる家庭では、一緒にお読み頂き庄原の歴史へ興味や関心を持って頂ければ幸いです。

荒木 記

